

フィルムフェスタ

～日本語字幕付き映画上映会～

ねりまフォーラム 2022 男女共同参画の集い



@2020 LOTTE ENTERTAINMENT All Rights Reserved.

82年生まれ、
キム・ジヨン

令和4年10月15日(土) 練馬区立関区民ホール

令和4年11月19日(土) 練馬区立生涯学習センター

主催 練馬区 企画・運営 ねりまフォーラム実行委員会

ご来場いただき誠にありがとうございます。

ねりまフォーラムは、公募した区民等で構成しているねりまフォーラム実行委員会が企画・運営を行い、実施しています。男女共同参画について考えていただく機会として、昨年引き続き映画上映を企画しました。

「82年生まれ、キム・ジヨン」は韓国の作家チョ・ナムジュ氏の小説が原作の韓国映画です。昨年の「ねりまフォーラム2021」で上映し大変好評でしたので、今年度は更に多くの方に見ていただけるよう、2回の上映機会を設けました。

本作では、出産・育児のため仕事を辞めたジヨンの目を通し、女性が日常の中で感じる「生きづらさ」「女性であるが故に受ける不当な扱い」「女性から同じ女性への古い価値観の押し付け」等が様々な面から描かれます。何気ない周囲の言動が傷となって積み重なり、心を病んでいくジヨン。ジヨンの変化に戸惑いつつも、妻を支えようと自分を振り返り模索する夫デヒョン。やがてジヨンは新たな一歩を自分の力で踏み出します。作中で描かれる、性別役割分担意識や性暴力被害への対応には、日本とも共通する点が多々あります。人が性別や年齢にとらわれず、互いを尊重し自分らしく生きる社会を実現するには何が必要なのでしょう。この映画を通して何かを感じ、考え、行動するきっかけになれば幸いです。

(ねりまフォーラム実行委員会)

『82年生まれ、キム・ジヨン』

配給：クロックワークス

韓国で130万部突破。日本でも社会現象を巻き起こした大ベストセラー小説、感涙の映画化



© 2020 LOTTE ENTERTAINMENT All Rights Reserved.



© 2020 LOTTE ENTERTAINMENT All Rights Reserved.

STORY

出産を機に仕事を辞め、育児と家事に追われるジヨン。常に誰かの母であり妻である彼女は、時に閉じ込められているような感覚に陥ることがあった。そんな彼女を夫のデヒョンは心配するが、本人は「ちょっと疲れているだけ」と深刻には受け止めない。しかしデヒョンの悩みは深刻だった。

妻は、最近まるで他人が乗り移ったような言動をとるのだ。ある日は夫の実家で自身の母親になり文句を言う。「正月くらいジヨンを私の元に帰してくださいよ」。ある日はすでに亡くなっている夫と共通の友人になり、夫にアドバイスをする。「体が楽になっても気持ちが焦る時期よ。お疲れ様って言ってあげて」。ある日は祖母になり母親に語りかける。「ジヨンは大丈夫。お前が強い娘に育てただろう」

その時の記憶はすっぱりと抜け落ちている妻に、デヒョンは傷つけるのが怖くて真実を告げられず、ひとり精神科医に相談に行くが…。

『82 年生まれ、キム・ジヨン』の中でここが問題！

- 家庭・家族で -

家事も子育ても手伝う、私が働くのも手伝う？
二人の家でしょ？二人の家事でしょ？
子どもだって二人の子どもじゃないの？
私が働いたらそのお金は私のためだけに使うと
でも思うの？

どうして他人に施しをするみたいな言い方をするの？

女は結婚して子どもを持つのが幸せなの？

どうして私だけが我慢したり、あきらめたりしなくてはいけないの？

妻であり、母である前に「私は私」なのに、自分自身はどこにいったの？



© 2020 LOTTE ENTERTAINMENT All Rights Reserved.

社会で

子育て中の主婦は旦那の稼ぎでぶらぶらしている？ママ虫なの？

(注)ママ虫とはネットスラング(俗語)で、騒ぎ回る子どもを放置する迷惑な母親や、夫の稼いだお金で遊び回っている母親を侮辱する言葉。



© 2020 LOTTE ENTERTAINMENT All Rights Reserved.

職場などー

男性が育児休業を取ると出世できない？

女性は能力があっても、大きな仕事や昇進は、男性の方が優先されてしまうの？

性暴力・性被害

女性トイレでの隠し撮り。周りも見て見ぬふり。

被害に遭ったかもしれないけど、怖くて言えない。

周りに合わせて自分を抑える孤独や疲労は募るばかり。

痴漢に遭うのは服装が悪いの？

そんな恰好をして歩くから性犯罪に遭うんだってどうして言われるの？

『82年生まれ、キム・ジヨン』を観て思うこと すべての人が輝くために一今、できること一

家庭・家族から

家事は妻がするもの、それを手伝うのがいい夫。知らず知らずのうちのそう思い込んでいませんか？「お宅のご主人は色々手伝ってくれていいわね。うちはもう全然ダメで、仕事も大変そうだし仕方ないかな」なんて会話が交わされたりします。でもこれっておかしくないですか？

女性だから男性だからという枠から離れ、家庭を構成する一員として、家事・育児に向き合ってみませんか？どちらかが苦しくなったら、しっかりSOSをしましょう。お互いのちょっとした気遣いで、改善のきっかけは作れます。

結婚・仕事・子育て、男だから女だからではなく、自分の人生は自分らしく生きましょう。

社会から一

1人1人が、性別による役割分担意識にとらわれず、他人を思いやることができると、女性だけでなく、誰もが働きやすく、生きやすい社会になるのではないのでしょうか。

職場から一

“男性でも育児休業がとりやすい” “女性も活躍できる” 働きやすい職場は、意欲の向上・人材の確保・会社のイメージアップ・生産性の向上につながります。

また、子育ては、その時期しか経験できない、子どもとのふれあいの時間です。

企業等の環境整備も必要ですが、労働者の意識改革が重要です。

性暴力・性被害から

盗撮や痴漢、これは犯罪です。見ないふりも同罪です。

性暴力はする方が悪いのです。また、好きな服を着て出かけるのと性犯罪は関係ありません。

被害に遭ったら、泣き寝入りしない勇気を持ちたいものです。

また、目撃してしまったら、周りと協力して声をあげましょう。

みんなの意識が変われば社会が変わる一

映画原作の著者、チョ・ナムジュさんは、巻末で日本の読者へこう述べています。

- この本が、自分を取り巻く社会の構造や慣習を振り返り、声をあげるきっかけになれば、と願っています。あなたの声を待っています。 -

- ・ご家庭での家事分担を考えてみる - 「男は仕事、女は家庭」なんてもうやめよう一
- ・それぞれの立場になって考えてみる
- ・友達と感じたことについて話してみる
- ・疑問に思ったことや違和感を抱え込まないで誰かに相談してみる
- ・自分の気持ちに素直になる

まずはこんなことから
始めてみませんか？

男女平等の考えが自然と次世代へ受け継がれていく、そんな社会を目指していきましょう。